

入試について

入試情報

大学
入試情報ページ



人間社会学科・子ども学コースの入試には、学校推薦型選抜、一般選抜（前期日程／後期日程）があります。

学校推薦型選抜：書類選考の上、小論文、面接による選考を行います。

一般選抜（前期日程）：大学入学共通テスト（6又は7教科8科目）、個別学力検査（2科目）、調査書等による選考を行います。

一般選抜（後期日程）：大学入学共通テスト（6又は7教科8科目）、小論文、調査書等による選考を行います。

※ 一般選抜では、出願時に「**人間社会学科（教育学・子ども学コース）**」を選択してください。

これに加えて、新フンボルト入試、帰国生徒・外国学校出身者特別選抜、私費外国人留学生特別選抜、第3年次編入学試験があります。

詳しくは本学サイトをご覧くださいの上、**最新の募集要項をご確認ください。**

また、**オープンキャンパス**が例年7月に開催されます。ぜひご参加ください。

免許・資格／進路について

免許・資格

教員免許状：**幼稚園教諭一種**を主免許として、**小学校教諭一種**を取得可能。また、**中学校教諭一種（社会）**・**高等学校教諭一種（公民）**が取得可能です。

取得できる資格：学芸員（博物館）・社会調査士

※ 履修の組み合わせにより、複数免許・資格を4年間で取得できないことがあります。

進路

子ども学コース卒業生の進路は、**教職・保育職・行政職・一般就職・大学院進学**など、さまざまです。

子どもや教育・文化にかかわる企業に就職している卒業生、行政職として子ども・子育てに貢献している卒業生も輩出しています。また、**お茶の水女子大学大学院 保育・児童学コース**など、大学院に進学後、子ども・教育・保育にかかわる研究者として、大学教育に携わる道も開かれています。子ども学を通して得られた人間理解や創造性は、一般企業への就職にも生かされています。

近年の卒業後の進路については、HPをご覧ください。

子ども学
コース
HP・卒業
後の進路



もっと知りたい…

アクセス・公式サイト

東京メトロ丸ノ内線・茗荷谷駅から徒歩7分（池袋駅から2駅、東京駅から6駅）。詳しくは、本学サイトをご覧ください。



大学公式

交通アクセス

子ども学HP

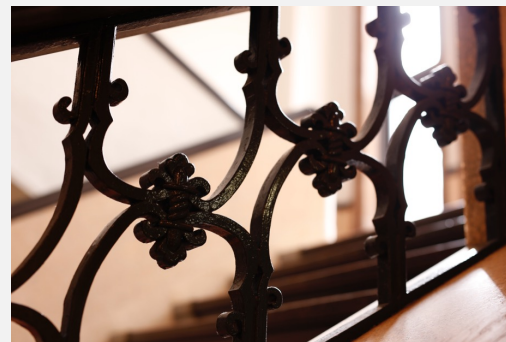
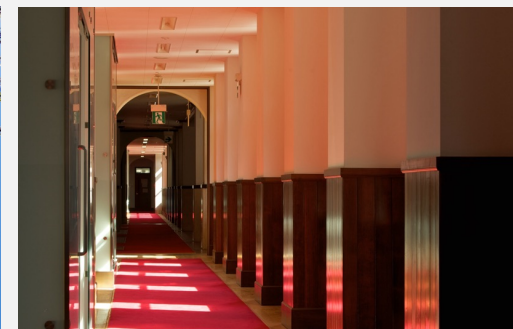
お問い合わせ

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 国立大学法人お茶の水女子大学

<https://www.ocha.ac.jp/index.html>

* 子ども学コースについて：child-studies@cc.ocha.ac.jp

* 入試について：〈入試課〉nyushi@cc.ocha.ac.jp



お茶の水女子大学
文教育学部 人間社会学科

子ども学コース

The Faculty of Letters and Education
Department of Human and Social Sciences
Child Studies

「子ども」という視点を通して、
人間・社会・文化を原点から探究する



お茶の水女子大学
Ochanomizu University



お茶の水女子大学は
2025年に創立150周年を迎えます

概要

子ども学コースでは、「子ども」という人間存在について、保育学・心理学・社会学・歴史学など、学際的な理論的探究を深めるとともに、教育・保育の場でのフィールドワーク等を通して、実際の子どもとの姿に触れることで、リアルな学びを目指します。

人間を 原点から考える	「子ども」という視点から考えると、私たちは社会の中で当たり前と思われている「大人」基準を超えて、人間・社会・文化のあり方を、新たな眼で見通すことができます。こうした「子ども学」の知を生かすことで、教育の場、企業や官公庁、学術研究の世界、そして地域に、今までになかった新しい貢献が可能になります。
多彩な 専門領域	子どもとその成長を根本から考える 教育・保育思想 、その実践にかかわる 保育学 、子どもの発達やその内面を理解する 心理学 、マクロな視点から子どもが生きる世界を俯瞰する 社会学 、子どもや教育を支える 教育制度 や、その変遷をたどる 歴史学 など、多彩な専門領域から子ども・人間を探究することができます。また、子ども学主プログラムに加えて、 副プログラム・学際プログラム など、幅広い領域の科目を学ぶことが可能です。
子どもの生きた 姿に触れて学ぶ	学際的な研究とともに、 教育・保育の場 において、実際の子どもの姿に触れて学べるのが、お茶の水女子大学・子ども学コースの特徴です。同じキャンパス内にあるお茶の水女子大学いずみナーサリー・こども園・附属幼稚園など、0歳からの子どもたちが生活する場に臨み、 フィールドワークやインターンシップ を通して実践的に学びます。
教職・社会への 貢献	子ども学コースでの深い学びは、 幼稚園教諭 をはじめとする 教員免許取得 においても、教育・保育の根本を捉え、子どもたちに真に貢献できる教員となることを可能にしています。同時に、行政職・一般企業に就職する卒業生も輩出しており、子ども学からの人間理解は、 社会の幅広い領域で活躍する力 となっています。

子ども学の伝統と未来

お茶の水女子大学は開学以来、附属学校園と連携して、日本の教育・保育をリードしてきました。**附属幼稚園**は1876（明治9）年に創設された、日本でもっとも長い歴史をもつ幼稚園です。2005年には学内保育所**いずみナーサリー**、2016年には文京区立**お茶の水女子大学こども園**が創設され、子ども学コースと連携して教育・研究を進めています。

「日本のフレーベル」とも呼ばれる**倉橋惣三**（1882-1955）は、附属幼稚園主事（園長）を長く務め、『幼児の教育』誌（創刊124年）の編集に携わるなど、子どもを深く尊重する人間的な保育を全国に広めました。倉橋が主唱して創設されたお茶の水女子大学・児童学科が、現在の子ども学コースの出発点です。以来、**子ども学の知を受け継ぐ先輩**が、大学、研究職、教育現場、行政、企業などで活躍し、次の世代を応援しています。みなさんも、この流れに参加して、子ども学の未来を切り拓いていきませんか。



教員紹介

教育史	教授 小玉亮子 KODAMA Ryoko 社会の中の子ども・文化の中の子どもについて考える
子ども社会学	子どもたちは、グローバル化・情報化の進む社会のフロントランナーとして生きています。だからこそ、歴史的・空間的な比較という方法を駆使してマクロな視点から子どもたちの今を考えてみたいと思います。
保育学	教授 西隆太郎 NISHI Ryutaro 子どもと出会い、人間の原点について学ぶ
臨床心理学	保育とは、人と人との出会いに基づく営みです。保育的関係の中で、私たちは子どもとともに学び、成長していきます。こうした相互的な出会いの体験から、人間の原点への理解を深めていきたいと思います。
保育学	准教授 辻谷真知子 TSUJITANI Machiko 子どもの育ちや経験を丁寧に捉える
教育心理学 発達心理学	目の前にいる子どもは、今、何を感じているのか。そして過去、未来を含めて、何を経験し育っていくのか。子どもから学び、互いに学びを共有し語り合うことで、一般論では捉えきれない多くのことが見えてきます。
幼児教育学	講師 松島のり子 MATSUSHIMA Noriko 学問をとおして子どものしあわせを実現する
保育制度・政策	子どもが育つ社会や環境のあり方をより良くしていくために、保育の制度や政策（の歴史）に関心をもっています。子どもを思い、力を尽くしてきた先達のあゆみをたどり、多角的に考えていきたいと思っています。

カリキュラムの概要

子ども学（主＋強化）プログラム

1年～ 基礎	子ども学概論、社会学総論、人間と発達、人間科学論、教職概論	教職科目
1年～ 概論系	幼児教育方法学概論、幼児教育課程概論、子ども社会学概論、幼児教育制度概論、保育内容総論（子どもと遊び）、幼児教育学原論、子ども生活論、人間関係論、子ども文化論、子ども学特殊講義	
2年～ 演習・実習	子ども学フィールドワーク、幼児教育学演習、保育学演習、子ども社会学演習、家庭教育論演習、幼児教育制度演習、子ども発達環境論演習、乳幼児心理学演習、子ども学調査法演習、子ども学インターンシップ、子ども学研究指導、卒業論文	4年・教職科目
近接領域	人間社会科学科 社会学コース・教育科学コース基礎科目 学校インターンシップ、教育科学コース演習科目 児童福祉論、発達臨床心理学、臨床心理学概論	

幼児理解と教育相談
保育内容指導法（健康、人間関係、環境、言葉、表現）、保育5領域に関する専門科目

教育実習、事前指導、事後指導
教職実践演習